2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	精神障害治療学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　火1・2	教室名	403教室
担当教員	中村 倫太郎、吉岡 正貴 小西 浩之	実務経験とその関連資格	精神科領域で作業療法士として現在勤務している。			

《授業科目における学習内容》

精神科の各疾患、各時期における治療の意味と治療方法を講義と演習を用いて学習する。

《成績評価の方法と基準》

授業点(3割)。期末テスト(7割)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

【使用教材】①標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学［第3版］(医学書院)
【参考資料】①精神障害作業療法学(ゴールドマスターテキスト　MEDICAI　VIEW社)　②精神障害作業療法(医歯薬出版株式会社)　③精神障害と作業療法　(三輪書店)　④作業治療学2精神障害(協同医書出版社)　※参考資料及びその他資料はその都度資料配布する。

《授業外における学習方法》

配布資料を含む授業の復習

《履修に当たっての留意点》

特になし。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神作用物質における評価・治療計画・疾病疾患論	配布資料 教科書P84~90	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	精神作用物質における障害の中核的な症状・評価項目と評価時の留意点・作業療法の進め方を理解できる		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神作用物質における障害への治療の実践	配布資料 教科書P90~92	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	症例を通じて作業療法の展開を理解できる		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害における疾病疾患論	配布資料 教科書P131~132	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害を理解できる		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害における治療計画	配布資料 教科書P133~136	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害における作業療法の評価項目が理解できる		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害における治療の実践	配布資料 教科書P137~138	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	症例を通じて作業療法の展開を理解できる		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食障害における疾病疾患論・評価治療計画	配布資料 教科書P142~150	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	摂食障害における中核的な症状・評価項目・作業療法の進め方を理解できる		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食障害における治療の実践	配布資料 教科書P151~152	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	症例を通じて作業療法の展開を理解できる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人格障害における疾病疾患論・評価治療計画	配布資料 教科書P154~164	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	人格障害における中核的な症状・評価項目・作業療法の進め方を理解できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	人格障害における治療の実践	配布資料 教科書P165~167	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	症例を通じて作業療法の展開を理解できる		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害における疾病疾患論・評価治療計画	配布資料 教科書P170~177	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	発達障害における中核的な症状・評価項目・作業療法の進め方を理解できる		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害における治療の実践	配布資料 教科書P178~179	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	症例を通じて作業療法の展開を理解できる		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体合併症における評価治療計画・治療の実践	配布資料 教科書P203~209	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	発達障害における中核的な症状・評価項目・作業療法の進め方・症例を通じた作業療法の展開を理解できる		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	場面別作業療法	配布資料 教科書P220~286	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	場面別の作業療法の役割と展開について理解できる		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団としての精神科作業療法	配布資料	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	集団作業療法の利点と精神科作業療法の仕組みについて理解できる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期のまとめ	配布資料	事前学習:テキストを読んでおく(20分) 事後学習:授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	後期のまとめ		